

キリスト教教育委員会のHP(<http://rakuno-ce.org>)にアクセスして事前に聖書や讃美歌の確認をしましょう。

ために来た。⁹その光は、まことの光で、世に来てすべての人を照らすのである。¹⁰言は世にあった。世は言によって成ったが、世は言を認めなかった。¹¹言は、自分の民のところへ来たが、民は受け入れなかった。¹²しかし、言は、自分を受け入れた人々、その名を信じる人々には神の子となる資格を与えた。¹³この人々は、血によってではなく、肉の欲によってではなく、人の欲によってでもなく、神によって生まれたのである。

¹⁴言は肉となって、わたしたちの間に宿られた。わたしたちはその栄光を見た。それは父の独り子としての栄光であって、恵みと真理とに満ちていた。¹⁵ヨハネは、この方について証しをし、声を張り上げて言った。「『わたしの後から来られる方は、わたしより優れている。わたしよりも先におられたからである』とわたしが言ったのは、この方のことである。」¹⁶わたしたちは皆、この方の満ちあふれる豊かさの中から、恵みの上に、更に恵みを受けた。¹⁷律法はモーセを通して与えられたが、恵みと真理はイエス・キリストを通して現れたからである。¹⁸いまだかつて、神を見た者はいない。父のふところにいる独り子である神、この方が神を示されたのである。

【『風の谷のナウシカ』基本情報】

映画：宮崎駿監督、トップクラフト、1984年。

マンガ：宮崎駿作『アニメージュ』（徳間書店）1982－1994年連載。

単行本：アニメージュコミックスワイド版全7巻。

アニミズムの救世主ナウシカの理想とヨハネによる福音書の理想は同じなのか違うのか。考えてみてください。

【聖歌隊へのお誘い】

大学礼拝では、聖歌隊の合唱による賛美をプログラムしています。どなたでも参加できます。斉唱のみでなく、合唱で賛美をする楽しさは、世界を広げます。礼拝後、オルガン前に集合してください。

【次回の礼拝】

次回の礼拝は10月1日です。宗教主任の小林昭博先生が奨励して下さいます。ご期待ください。

【前回の出席者】 2019年7月30日

学生 148名 教職員他 8名 計 156名

【大学礼拝週報】 2019年度 第16号（後学期第1号）

2019年9月24日（火）午前10時40分

酪農学園大学 黒澤記念講堂

《大学礼拝》

司 式 高橋優子（獣医学類教員）
奏 楽 佐藤理恵（野幌教会会員）
讃美指導 相原晴伴（循環農学類教員）

前 奏 「神をほめまつらん、祝しまつらん」（J.C. バッハ作曲）

讃 美 讃美歌 30番（あさかぜしずかにふきて）

聖 書 ヨハネによる福音書1章1－18節

祈 り

さんび

酪農学園大学聖歌隊

奨 励 「風の谷のナウシカとヨハネによる福音書」

高橋優子（獣医学類獣医倫理学研究室准教授）

讃 美 讃美歌 539番（あめつちこぞりて）

報 告

後 奏 「明るき太陽は今や輝きあらわれん」（ブロート作曲）

【本日の聖書】ヨハネによる福音書1章1－18節

¹初めに言があった。言は神と共にあった。言は神であった。²この言は、初めに神と共にあった。³万物は言によって成った。成ったもので、言によらずに成ったものは何一つなかった。⁴言の内に命があった。命は人間を照らす光であった。⁵光は暗闇の中で輝いている。暗闇は光を理解しなかった。

⁶神から遣わされた一人の人がいた。その名はヨハネである。⁷彼は証しをするために来た。光について証しするため、また、すべての人が彼によって信じるようになるためである。⁸彼は光ではなく、光について証しをする